

LIXIL

アーキキャスト門扉部品


— ポーチ取付仕様 —

取付説明書


- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

 **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

 **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

 **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※ ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

 **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。
- 門扉の種類によっては、デザイン上格子間のすき間が大きく頭や足が入りやすいものがあります。
- 設置高さの上限は、門柱外側のG.L.から1m以内にしてください。使用用途、設置環境に応じて事故の危険がない設置高さとしてください。
- 本製品は、戸建住宅の玄関ポーチへの設置を目的にしています。
- おおぜいの人が集まるおそれのある場所には設置しないでください。
- 門扉はコンクリート施工された玄関ポーチに施工してください。ブロック上への施工はできません。

注意

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。

<施工上のご注意>



⚠ 注意

- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

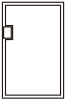

■梱包明細表

【1】門扉部品セット

| 名 称 | 略 図 | 員 数 | |
|----------|---|-----|-----|
| | | 片開き | 両開き |
| ヒンジ(上) |  | 1 | 2 |
| ヒンジ(下) |  | 1 | 2 |
| 落とし棒ホルダー |  | - | 1 |
| 落とし棒 |  | - | 1 |
| 落とし棒受け |  | - | 1 |
| 戸当り |  | 1 | 1 |
| ヒンジキャップ |  | 2 | 4 |
| ヒンジカバー |  | 2 | 4 |




| 名 称 | 略 図 | 員 数 | |
|------------------------------|---|-----|-----|
| | | 片開き | 両開き |
| 【1-1】M5×18ナベ小ネジ(SW) |  | - | 2 |
| 【1-2】M4×10トラス小ネジ |  | - | 1 |
| 【1-3】M5×22ナベ小ネジ(SW) |  | 2 | 2 |
| 【1-4】M5×12止めネジ (ゆるみ止め剤付き) |  | - | 5 |
| 取付説明書<A536> | - | 1 | 1 |

【2】門扉本体セット

| 名 称 | 略 図 | 員 数 |
|-------------|---|-----|
| 門扉本体 |  | 1 |
| 戸当りスペーサー(※) |  | 1 |

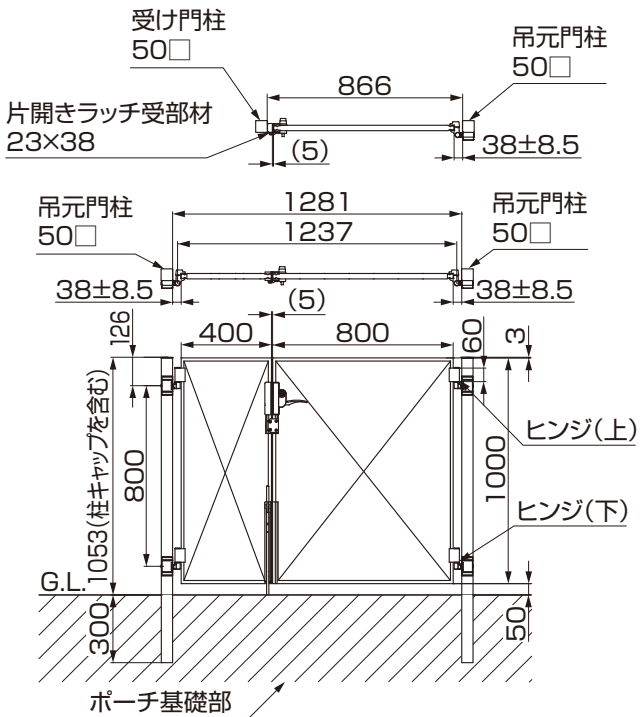
※BY型に戸当りスペーサーはありません。

【3】片開きラッチ受部材

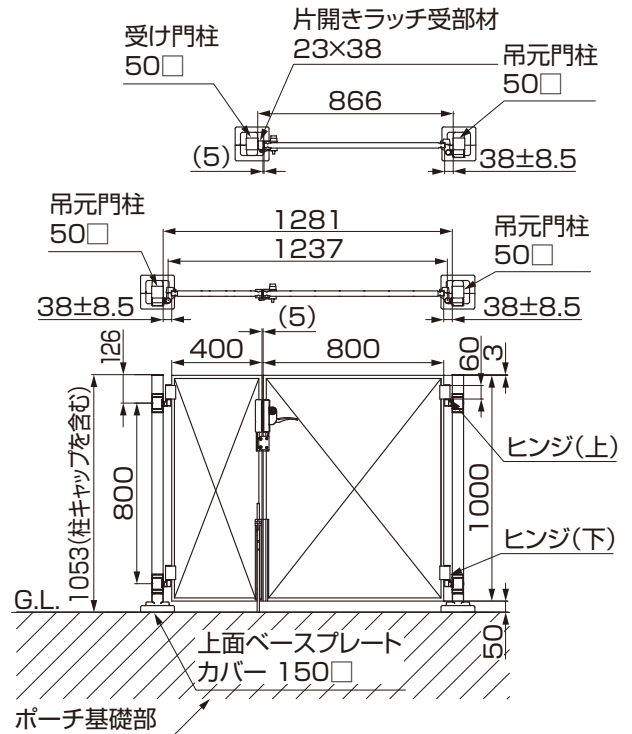
| 名 称 | 略 図 | 員 数 |
|-------------------|---|-----|
| 片開きラッチ受部材 |  | 1 |
| 片開きラッチ受部材キャップ |  | 2 |
| 【3-1】φ4×13ナベドリルネジ |  | 4 |

1. 基本寸法図と各部名称

1-1 埋込門柱



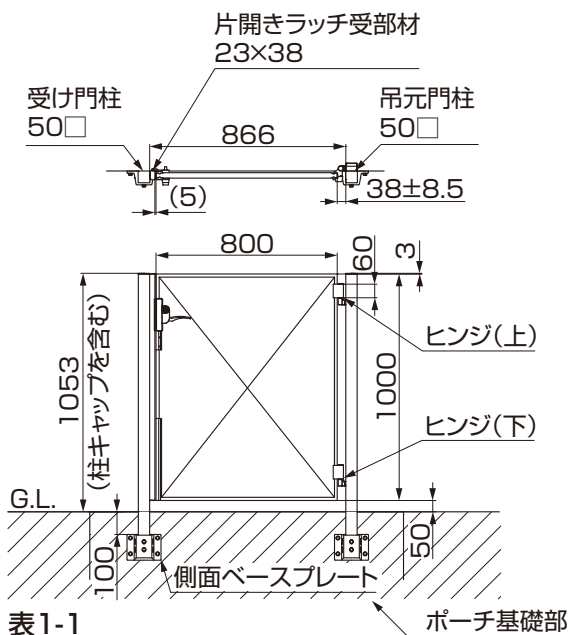
1-2 上面ベースプレート門柱



1-3 側面ベースプレート門柱

※側面ベースプレート仕様には2つの取付方法があり(表1-1参照)、門扉取付方法によって両開きができない場合があります。

(1) A取付け (門扉正面付仕様)



(2) B取付け (門扉側面付仕様)

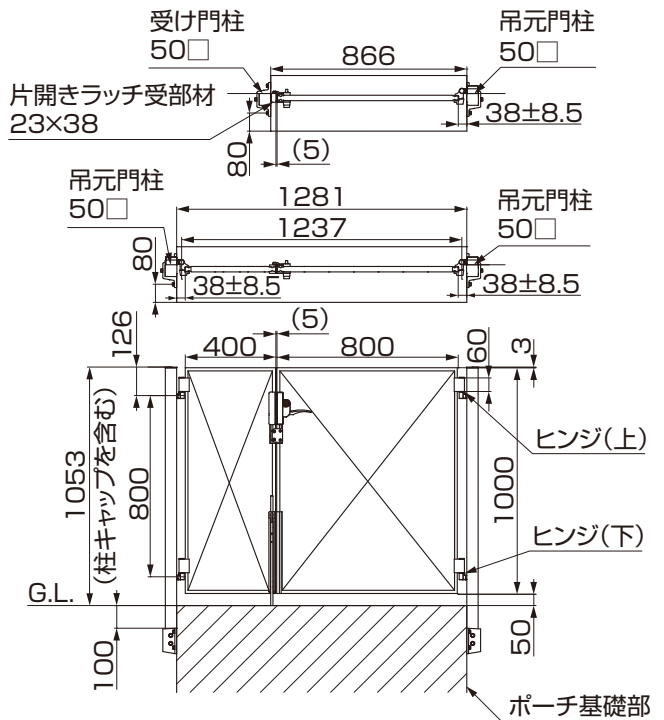


表1-1

| | 片開き | 両開き |
|------|-----|-----|
| A取付け | ○ | × |
| B取付け | ○ | ○ |

2. ヒンジの取付け

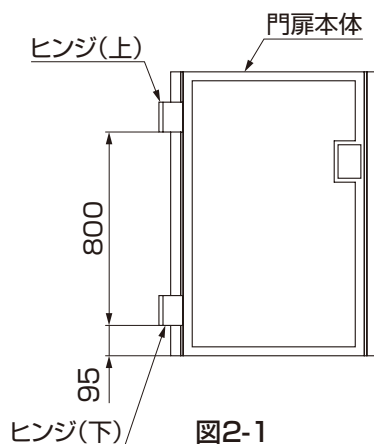
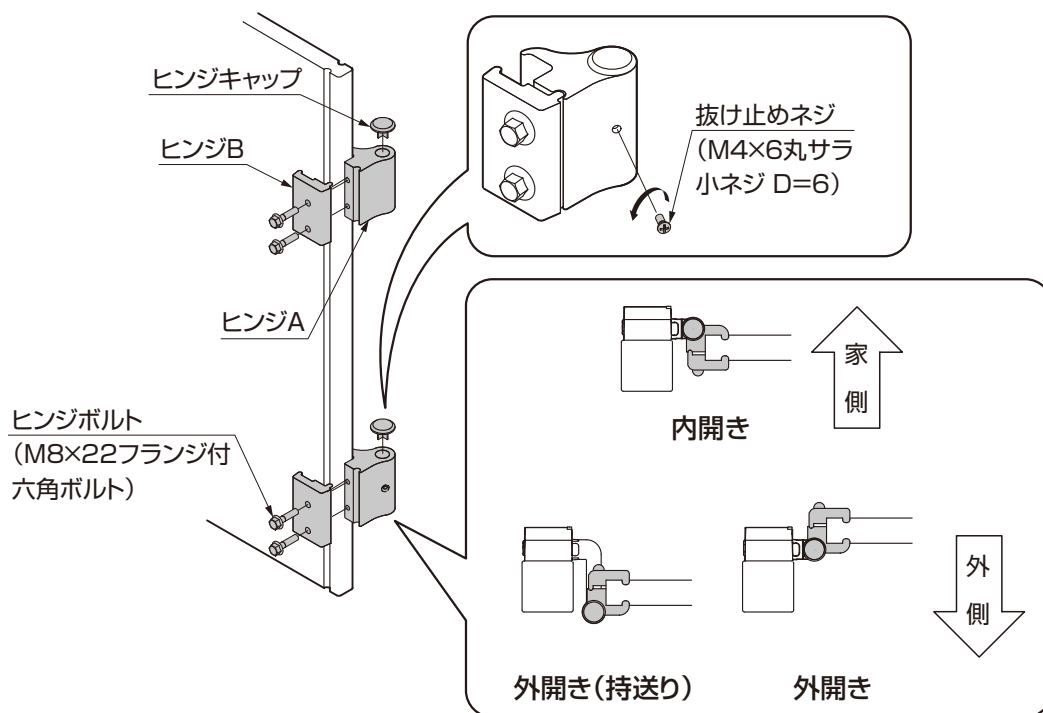


図2-1

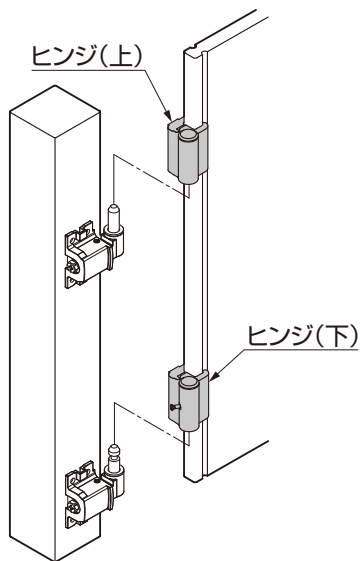


- ①ヒンジを図2-1にしたがい、門扉の吊元側の溝に合わせヒンジAとヒンジBで挟み、「ヒンジボルト」で固定してください。

ポイント

- 「抜け止めネジ」のネジ穴のあるヒンジが下にくるようにします。

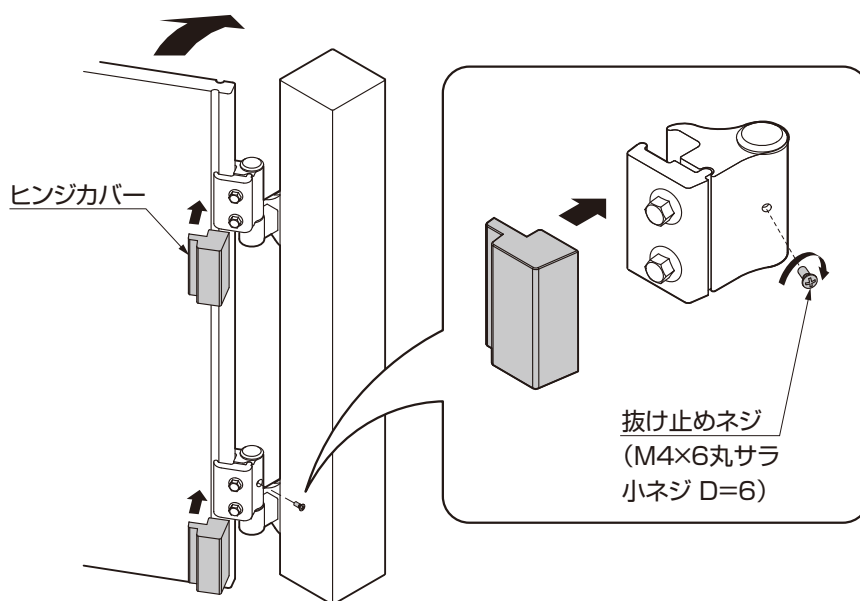
- ②ヒンジキャップをはめてください。
- ③ヒンジ（下）の「抜け止めネジ」をゆるめてください。



④ヒンジ（下）、ヒンジ（上）の順に調整金具のシャフトに差込んでください。

ポイント

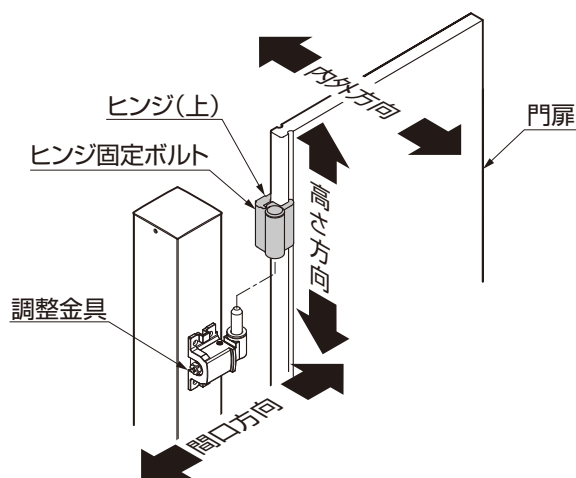
- ヒンジを調整金具に差込む際、調整金具の上下のシャフトの中心を、水糸などを使用して合わせてください。調整方法は、「3. 調整金具の調整方法」を参照してください。シャフトの中心位置がずれていると、開閉時の音なりが発生することがあります。
- 門扉開閉時にヒンジと調整金具のシャフトとの間で音なりが発生した場合、一度門扉を取外し、調整金具シャフトおよびヒンジの穴内のゴミなどを取除いた後、市販の潤滑用グリースをシャフトおよびヒンジの穴に十分塗布し、再び門扉を取付けてください。



- ⑤門扉をあけ、ヒンジ（下）の「抜け止めネジ」を締めてください。
 ⑥ヒンジカバーを取付けてください。

3. 調整金具の調整方法

3-1 門扉の調整方法



①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ボルトをゆるめ、ヒンジをスライドして調整してください。

ポイント

●門扉とG.L.のすきまは50mmが標準です。

②間口方向および内外方向の調整方法は、「3-2 間口方向・内外方向の調整」により調整金具で調整してください。

3-2 間口方向・内外方向の調整

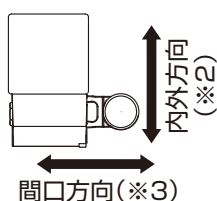
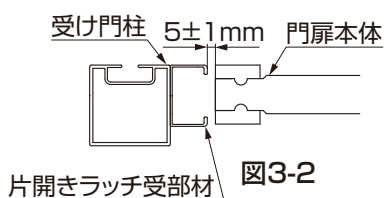
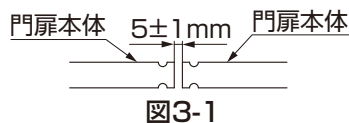
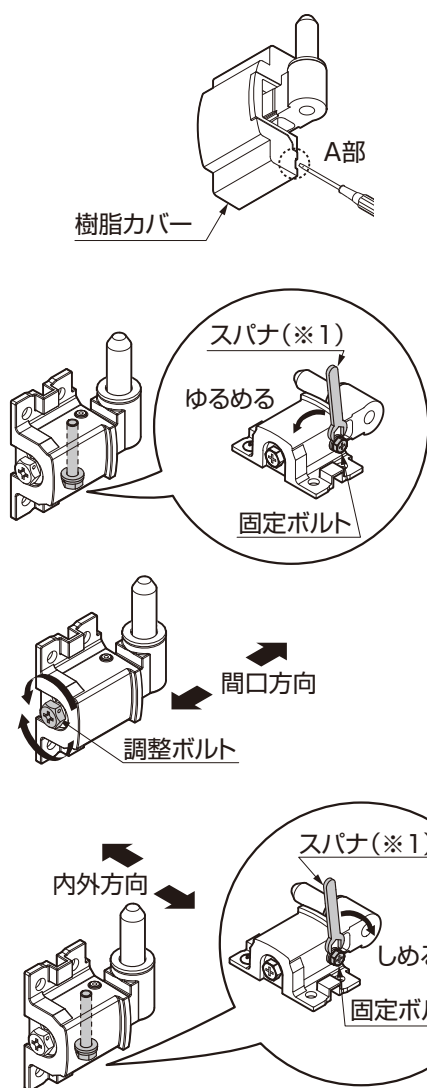


表3-1 調整範囲

| | |
|----------|--------|
| 内外方向(※2) | ±5mm |
| 間口方向(※3) | ±8.5mm |

①A部にマイナスドライバーをはめて、樹脂カバーを取外してください。

注意

●無理に外そうとすると樹脂カバーが破損するおそれがあります。

②固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

●固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと固定ボルトが破損します。
●必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

③調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

ポイント

●両開きの場合、門扉本体と門扉本体のチリ寸法は5±1mmに調整してください。(図3-1参照)
●片開きの場合、門扉本体と受け門柱のチリ寸法は5±1mmに調整してください。(図3-2参照)上部のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。

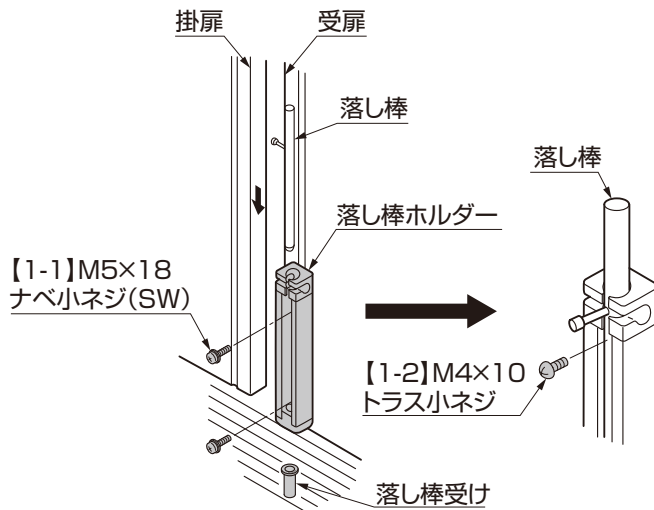
④内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

⑤調整が完了したら、樹脂カバーを取付けてください。

補足

●調整範囲は表3-1を参照してください。

4. 落とし棒の取付け



- ① 落とし棒ホルダーを【1-1】で受扉に取付けてください。
- ② 落とし棒を落とし棒ホルダーに挿入し、【1-2】を取付けてください。

ポイント

- 落とし棒受けは、間口寸法の調整後埋込んでください。

5. 戸当りの取付け

5-1 両開きの場合

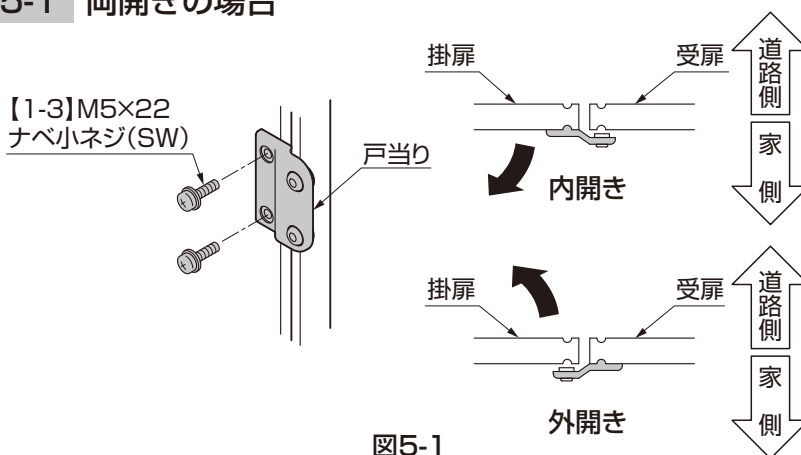


図5-1

- ① 戸当りを【1-3】で扉に取付けてください。

補足

- 戸当りを取付ける位置は、図5-1に従ってください。

5-2 片開きの場合

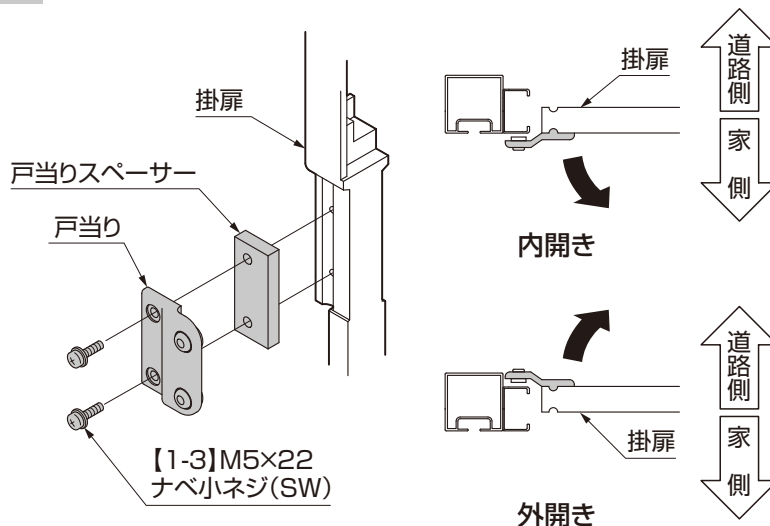


図5-2

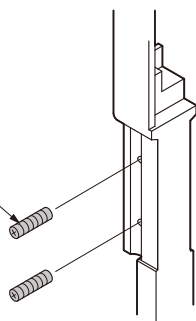
- ① 戸当りと掛扉の間に戸当りスペーサーをはさみ、戸当りを【1-3】で取付けてください。

補足

- 戸当りスペーサーはBC型・BK型・BT型の08-10サイズにのみ同梱されています。
- BY型の場合は、戸当りスペーサーをはさまず、そのまま門扉に戸当りを取付けてください。
- 戸当りを取付ける位置は図5-2に従ってください。
- 親子門扉の場合は、戸当りスペーサーを使用しません。

6. 穴隠しネジの取付け ※両開きの場合のみの作業です。

【1-4】M5×12止めネジ
(ゆるみ止め削付き)



- ①使用しなかった戸当り取付穴に【1-4】を取付けてください。

補足

- 【1-4】は5本中2本使用します。3本は予備です。

7. CF錠の取付け ※②～⑥は片開き時の作業です。

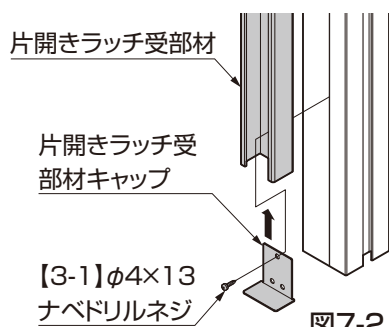


図7-2

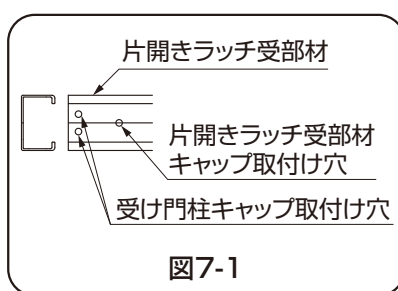


図7-1

- ①CF錠の取付説明書(A503)を参考に錠を取付けてください。
- ②受け門柱キャップを取外してください。
- ③片開きラッチ受部材と下側の片開きラッチ受部材キャップを受け門柱の下穴にそって【3-1】で取付けてください。(図7-1、図7-2参照)

ポイント

- 受け門柱のV溝と片開きラッチ受部材のV溝を合わせて、直接取付けてください。
- 下部分の片開きラッチ受部材キャップを取付ける際は、片開きラッチ受部材キャップ取付穴1カ所で固定してください。(図7-1、図7-2参照)

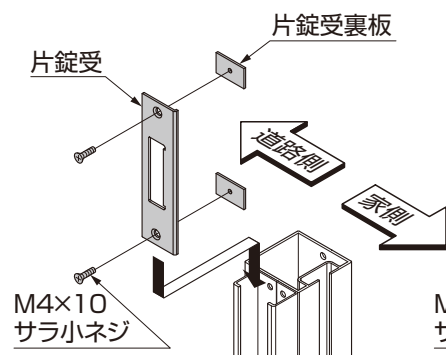


図7-3 内開き時

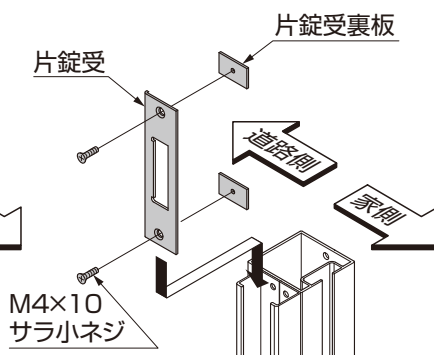


図7-4 外開き時

- ④片錠受、片錠受裏板をM4×10サラ小ネジで仮組みし、片開きラッチ受部材にスライドして挿入します。
- ⑤片錠受を上下にスライドさせ、片錠受とフロントカバーの高さを揃え、M4×10サラ小ネジを締めて固定してください。

ポイント

- 片錠受けは内開き時と外開き時で取付ける方向が違います。(図7-3、図7-4参照)

- ⑥受け門柱キャップと上側の片開きラッチ受部材キャップを、取付けていたネジと【3-1】で取付けてください。(図7-1、図7-5参照)

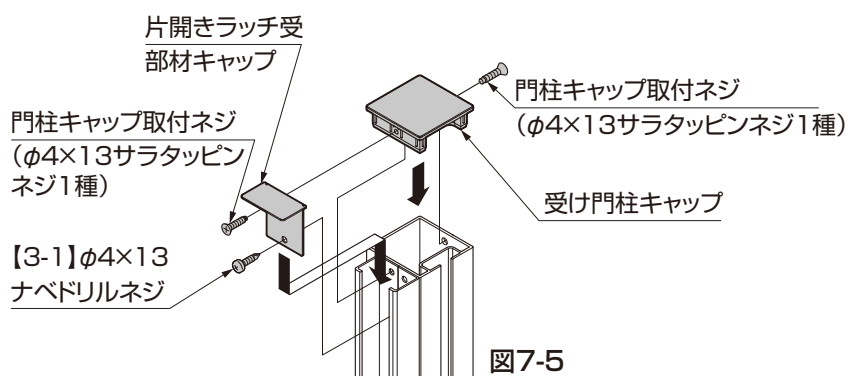


図7-5

取説コード

A536

JZZ621170C
201102A_1041
201607D_1048